

9. マスタープランの実現に向けて

本計画の実施にあたっては、市民・事業者・行政がそれぞれの役割分担のもと、相互に連携・協力して、市民の豊かな住生活を実現することが重要です。

① 市民の役割

江別市住宅マスタープランは、江別市の住宅の目標像と住宅施策の基本方針を示したものであり、その理念、目標を実現するためには、市民が良質な社会的資産としての住まいづくりに理解を示し、主体的に住宅建設やリフォーム、地域との交流を行うことを通し、自らが江別市の住宅、住環境、地域社会づくりの主役となることが求められます。

② 事業者の役割

住宅づくりは、住宅設計技術者、施工業者である工務店やハウスメーカー、不動産会社など住宅に関連する事業者、在宅福祉など住まい関連の居住サービスを提供する事業者などの活動や技術開発、情報提供も不可欠です。

事業者は、市民の住宅に対するニーズに応えるよう、江別市にふさわしい住宅供給やサービスを提供するよう努めます。

③ 行政の役割

行政は、国や北海道、信頼できる関係機関の住まい情報の提供と市営住宅の供給を行うことを通し、市民の住まいに関する多様なニーズに応えるとともに、よりよい住まいづくりに向け市民と連携し、住まいづくりの知識向上を図ります。

事業者に対しては、行政が持つ住宅情報を適切に提供することにより、事業者の意識啓発を図ります。

また、庁内関連部局と一層の連携を図るとともに、国、北海道、関係機関などに対しては、住宅を取り巻く法制度、事業手法の拡充や関連情報の提供を働きかけます。